

令和3年度 良質米麦安定生産技術 オンライン講習会

視聴無料

一般社団法人 北海道農産協会

○配信先 : 一般社団法人 北海道農産協会ホームページ

○配信期間 : 令和4年1月17日から順次掲載する予定です。(4月末終了予定)

※正式日程は本会ホームページでお知らせします。

アクセスはこちら

<https://hokkaido-nosan.or.jp/>



■米穀

令和3年産北海道産の米穀については、記録的な高温から生育は早まり、近年に無く低たんぱくで高収量である良好な産年でありましたが、一部地区では倒伏や雑草の発生、高温障害による胴割れ粒の多発等、高温年の新たな課題も浮き彫りになってきました。

そこで、本講習会では令和3年産作柄を踏まえた基本技術と、発生すれば商品価値を下げてしまう胴割れ粒発生のメカニズムの防止対策に焦点に当て解説するとともに、今後の新技術についても情報提供致します。

○令和4年産良質・良食味米の安定生産にむけて(2部構成)【講師:北海道 技術普及課】

○水稻の新技术紹介(仮称) 【講師:北海道 技術普及課】

■小麦

令和3年産秋まき小麦の登熟期間は記録的な高温・少雨となり、収穫前は収量減が懸念されましたが、多くの地域で平年作以上の収量が確保されました。

しかし、その一方では細麦傾向となり、製品歩留まりが低下するほ場も目立ちました。

そこで、秋まき小麦主産地における令和3年産秋まき小麦の“気象条件と収量の関係”および細麦が生じた要因について解説するとともに技術的な対策について解説します。

また、課題となっていた「コムギなまぐさ黒穂病」の総合的な防除対策を整理して解説するとともに、小麦の需給状況について情報提供します。

○「令和3年産秋まき小麦 収量・品質から見た技術的な課題と対策」【講師:北海道技術普及課】

○「小麦病虫害対策について」(仮称) 【講師:北海道 技術普及課】

○「小麦をめぐる情勢について」(仮称) 【講師:ホクレン麦類課】